

現年
県単事業 平成 20 年度 道路改良事業

工事設計書

工事番号 道改 第 0-0-16 号

業者用

河川路線名等 (一) 新田大沢線
工事名 道路改良工事

工事箇所 三木市吉川町畑枝

工 種 道路改良



起工伺兼工事設計書

本庁			県民局						工事業務課			起案	年	月	日		
課長	係長	審査	局長	副局長	県土整備部長	所長	副所長	課長	精算・審査	設計	副所長	課長	担当	決定	年	月	日
														起工番号 第			号

現年 県単事業 平成 20 年度 道路改良事業

工事番号	道改 第 0-0-16 号					工 事 概 要				
工 事 費						延長 L =	110.00	幅員 W =	5.50 (7.00)	
	実 施 (前回変更) 円	今回変更 円	増 減 額 円			左 岸 L =		右 岸 L =		
設計額 [基準適用]						概 要 名			数 量	単 位
請 負 額						土工			1.0	式
						ブロック積工			90.0	m ²
執行方法	請負	施工日数	180 日			側溝工			111.0	m
		施工期限	年 月 日限り			舗装工			944.0	m ²

施行管理計画番号	枝番号	会計	
		節	
		契約方法	
		契約理由	

工事費内訳書

頁0-0001

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
道路改良							
道路土工							
掘削工							
掘削(土砂)							
	バックホウ掘削積込 土質区分⇒砂・砂質土・粘性土・埴質土 バックホウ⇒排出ガス対策型	1,200		m ³			
路床盛土工							
路床盛土(流用土)							
	盛土工(敷均し締固め)	10		m ³			

施工 第0-0003号内訳表

工事費内訳書

頁0-0002

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
作業土工						
床掘り						
バックホウ床掘 土質区分⇒砂・砂質土・粘性土・レキ質土 バックホウ⇒排出ガス対策型	60		m ³			
基面整正						
	100		m ²			
埋戻し						
埋戻工(締固めを含む)						
	20		m ³			
残土処理工						
残土処理						
ダンプトラック運搬 土質区分⇒土砂	1,290		m ³			

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
法面整形工										
法面整形(切土部)										
切土法面整形〔ハックル〕 土質区分⇒レキ質土・砂・砂質土及び粘性土 ハックル⇒排出ガス対策型	280			m ²						
法面工										
植生工										
種子散布										
種子散布工 種子散布	280			m ²						
ブロック積張工										
コンクリートブロック工										

工事費内訳書

頁0-0004

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリートブロック基礎						
コンクリートブロック基礎 K-1						
	48		m			施工 第0-0011号内訳表
コンクリートブロック積						
コンクリートブロック積工 普通ブロック 裏込コンクリートあり (t=10cm)						
	90		m ²			
胴込・裏込材投入 間知・平ブロック 再生切込砕石						
	20		m ³			
排水構造物工						
側溝工						
プレキャストU型側溝						
プレキャストU型側溝 [PU200型] PU234 再生切込砕石基礎						
	95		m			施工 第0-0016号内訳表

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
場所打水路工										
現場打水路										
現場打L型側溝(NL100型) NL144 再生切込砕石基礎	16		m							施工 第0-0018号内訳表
構造物撤去工										
構造物取壊し工										
コンクリート構造物取壊し										
構造物とりこわし工(機械施工) 無筋構造物	9		m ³							
舗装版取壊し										
舗装版切断工 アスファルト舗装版 切断深 5 cm	16		m							

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版の直接掘削積込						
	612		m ²			
運搬処理工						
殻運搬処理						
ダンプトラック運搬 土質区分⇒コンクリート殻(無筋)						
	9		m ³			
処分費 種 類⇒コンクリート殻(無筋)						
	1		式			
殻運搬処理						
ダンプトラック運搬 アスファルト殻						
	30		m ³			
処分費 種 類⇒アスファルト殻						
	1		式			施工 第0-0028号内訳表
舗装						

工事費内訳書

頁0-0007

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装工										
舗装準備工										
不陸整正										
不陸整正(路床) ロードローラ⇒排出ガス対策型 タイヤローラ⇒排出ガス対策型	903		m ²						施工	第0-0029号内訳表
アスファルト舗装工										
下層路盤										
下層路盤工(再生切込砕石) 仕上り厚⇒20cm ロードローラ⇒排出ガス対策型	931		m ²						施工	第0-0030号内訳表
上層路盤										
上層路盤工(鉄鋼スラグ HMS) 仕上り厚 20cm	917		m ²						代価	第0001号内訳表

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
路盤工 (路肩部) 仕上り厚⇒20cm 排出ガス対策型	32		m ²			施工 第0-0031号内訳表
表層						
アスファルト舗装 [機械施工] 密粒度アスコン[再生改質As I型] (13) 厚 5cm(プライムコート)砂散布なし	944		m ²			施工 第0-0032号内訳表
縁石工						
縁石工						
アスカフ						
アスファルトカーフ設置工 ③細粒度アスコン[再] (13)	105		m			施工 第0-0033号内訳表
防護柵工						
路側防護柵工						

工事費内訳書

頁0-0009

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
ガードレール										
防護柵設置工 (ガードレール) コンクリート建込 塗装品 Gr-C-2B	31		m							
防護柵設置工 (ガードレール) コンクリート建込 [設置手間のみ] 塗装品 Gr-C-2B	18		m							
防護柵設置工 (ガードレール) 土中建込 塗装品 Gr-C-4E	23		m							
防護柵設置工 (ガードレール) 土中建込 [設置手間のみ] 塗装品 Gr-C-4E	16		m							
防護柵撤去工 (ガードレール) Gr-C-2B	18		m							
防護柵撤去工 (ガードレール) Gr-C-4E	16		m							
防護柵基礎工										
コンクリート										

工事費内訳書

頁0-0010

費目・工種・種別・細目	数	量	単	単	価	金	額	備	考
ガードレール基礎工(R201型) 連続(ポスト部)									
	25			箇所					施工 第0-0040号内訳表
ガードレール基礎工(R202型) 連続(中間部)									
	36			m					施工 第0-0045号内訳表
区画線工									
区画線工									
溶融式区画線									
区画線設置工(溶融式) 破線(15cm幅) 塗布厚⇒1.5mm									
	55			m					
区画線設置工(溶融式) 実線・ゼブラ(15cm幅) 塗布厚⇒1.5mm									
	220			m					
直接工事費計									
共通仮設費計									

工事費内訳書

頁0-0011

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
安全費							
交通誘導員				式			
	交通誘導員B						
		120		人日			
共通仮設費率分							
				式			
純工事費計							
現場管理費							
				式			
工事原価計							
一般管理費等							
				式			
工事価格							

工事費内訳書

	費目・工種・種別・細目	数	量	単	価	金	額	備	考
消費税相当額									
				式					
合 計									
工事価格計									
消費税相当額									
				式					
総 計									

上層路盤工 (鉄鋼スラグ HMS)

代 価 表

頁0-0013

代価 第0001号内訳表

仕上り厚 20cm

1 m² 当り

名称・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
上層路盤工 (鉄鋼スラグ HMS) 仕上り厚⇒10cm	1	m ²			施工 第0-0001号内訳表
上層路盤工 (鉄鋼スラグ HMS) 仕上り厚⇒10cm	1	m ²			施工 第0-0001号内訳表
単 位 当 り	1	m ²			

施工単価表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0014

上層路盤工(鉄鋼スラグHMS)

[規格1] 仕上り厚⇒10cm

[規格2]

100

m²

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
鉄鋼スラグ		m ³			
モータークレーン運転		日			
ロータリー運転		日			
排出ガス対策型 タイヤローラ運転		日			
排出ガス対策型 諸雑費		%			
合計	100	m ²			
単位当り	1	m ²			

施工単価表

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0015

盛土工（敷均し締固め）

[規格1]

[規格2]

100

m³ 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
バックホ運転 排出ガス対策型		時間			
振動ロー運転		日			
クハ締固め	10.00	m ³			
合計	100	m ³			
単位当り	1	m ³			

施工単価表

施工 第0-0021号内訳表

頁0-0019

基礎砕石工
[規格1] 再生切込砕石

[規格2] 基礎材の厚さ(0.15)m

100

m² 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m ³			
バックホ運転 [排出ガス対策型]		日			
諸雑費		%			
合 計	100	m ²			
単 位 当 り	1	m ²			

施工単価表

施工 第0-0029号内訳表

頁0-0021

不陸整正(路床)

[規格1] ロートローラ⇒排出ガス対策型

[規格2] タイヤローラ⇒排出ガス対策型

100

m² 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
モータグレーダ運転		日			
ロートローラ運転		日			
排出ガス対策型 タイヤローラ運転		日			
排出ガス対策型					
合計	100	m ²			
単位当り	1	m ²			

施工単価表

施工 第0-0030号内訳表

頁0-0022

下層路盤工(再生切込砕石)

[規格1] 仕上り厚⇒20cm

[規格2] ロードロー⇒排出ガス対策型

100

m² 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m ³			
モータグラブ運転		日			
ロードロー運転		日			
排出ガス対策型 タイヤロー運転		日			
排出ガス対策型 諸雑費		%			
合 計	100	m ²			
単 位 当 り	1	m ²			

施工単価表

施工 第0-0031号内訳表

頁0-0023

路盤工 (路肩部)

[規格1] 仕上り厚⇒20cm

[規格2] 排出ガス対策型

100

m² 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
再生切込碎石 (0~30mm・0~40mm)		m ³			
振動ロー運転		日			
排出ガス対策型 諸雑費		%			
合計	100	m ²			
単位当り	1	m ²			

施工単価表

施工 第0-0032号内訳表

頁0-0024

アスファルト舗装 [機械施工]

[規格1] 密粒度アスコン[再生改質As I型] (13)

[規格2] 厚 5cm(プライムコート)砂散布なし

100

m² 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
再生改質アスファルト I 型 密粒度アスコン TOP13		t			
アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)		ℓ			
アスファルトフィニッシャ運転		日			
ロードローラ運転 排出ガス対策型		日			
タイヤローラ運転 排出ガス対策型		日			
諸雑費		%			
合 計	100	m ²			
単 位 当 り	1	m ²			

施工単価表

施工 第0-0033号内訳表

頁0-0025

[規格1] 名称・規格	数量	単位	[規格2] 単価	金額	備考
アスファルトカーブ設置工 [規格1] ③細粒度アスコン[再](13)	100				m 当り
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
③細粒度アスコン(再生材) TOP13		t			
アスファルトカーブ運転		日			
ダンプトラック運転		日			
諸雑費		%			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			

施工単価表

施工 第0-0040号内訳表

頁0-0026

ガードレール基礎工(R201型)

[規格1] 連続(ポスト部)

[規格2]

10

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート打設 18-8-40BB [水セメント比 60%以下] 一般養生	1.40	m ³			(ポスト部)
型枠工	6.00	m ²			
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	0.030	t			
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D16mm	0.016	t			
円形空洞型枠設置 型枠の規格⇒D175 T=3.5mm	4.00	m			
合 計	10	箇所			
単 位 当 り	1	箇所			

特記仕様書

第1条 この仕様書は、下記の工事の施工に適用する。

工事名 : 道路改良工事
路線名 : (一) 新田大沢線
工事場所 : 三木市吉川町畑枝 地内

第2条 本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（平成19年10月 兵庫県県土整備部）」（以下「共通仕様書」という。）「土木請負工事必携（平成19年10月 兵庫県県土整備部）」「土木工事施工管理基準（平成19年10月兵庫県県土整備部）」「小型構造物標準図集（兵庫県県土整備部）」によるものとする。

第3条 共通仕様書に対する特記事項は、次のとおりとする。

1. 設計図書の照査等

- 1) 本特記仕様書に記載する事項の内、共通仕様書に記載されている事項と重複するものについては、本特記仕様書が優先するものとする。
- 2) 本工事の施工にあたっては、事前に設計図書の照査を行うものとし、監督員に確認できる資料を書面により提出するものとする。
- 3) 本工事の施行にあたっては、事前に主鉄筋等について土木構造物標準設計（国土交通省）等を参考に設計図書の照査を行うものとする。

2. 工事用地等の使用

1) 工事用地外への立ち入り

地区代表者・隣接土地所有者、その他関係者に工事着手前には十分な工事計画、方法等についての説明し理解を求め施工にあたっては、トラブルの発生がないように十分な配慮及び調整を行うこと。

3. 関係機関との調整

地区代表者・隣接土地所有者、漁業権者その他関係者に工事着手前には十分な工事計画方法等についての説明し理解を求め施工にあたっては、トラブルの発生がないように十分な配慮及び調整を行うこと。

4. 施工体制台帳について

- 1) 請負者は、建設業法第24条の7に基づいて施工体制台帳及び施工体系図を作成し、工事現場に備えるとともに、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第13条に基づいて監督員に提出するものとする。このとき施工体制台帳は様式-1及び様式-2、施工体系図は様式-3を参考として作成するものとする。また、請負者は、様式-4を参考に工事担当技術者の施工体系図を作成して、監督員に提出するものとする。工事担当技術者の施工体系図には、元請負業者の監理技術者及び専門技術者並びに下請負業者の主任技術者の顔写真・氏名・生年月日・所属会社名を記載するものとする。

2) 請負者は、建設業法施行規則第14条の2第4項第2号に基づく添付書類を、施工体制台帳とともに、監督員に提出するものとする。

5. 現場の管理について

1) 請負者は、現場代理人・監理技術者・主任技術者及び専門技術者並びに下請負業者の主任技術者に、工事現場内において工事名・工期・顔写真・所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。

(名札の例)

監理 (主任) 技術者	
<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; padding: 5px;"> <p>写 真</p> <p>2 cm × 3 cm 程 度</p> </div>	<p>氏 名 ○○ ○○</p> <p>工事名 ○○改良工事</p> <p>工 期 自○○年○○月○○日 至○○年○○月○○日</p> <p>会社名 ◇◇建設株式会社</p>
	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; display: inline-block; vertical-align: middle;"></div> <p style="margin-left: 5px;">印</p>

注) 1. 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。
2. 社印は所属会社の社印とする。

6. 建設副産物について

1) 再生資源の活用

特定建設資材の分別解体等・再資源化等

本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律((平成12年法律第104号)。以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

2) 再生資源の利用の促進

請負者は、建設副産物適正処理推進要綱(建設事務次官通達、平成14年5月30日)を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。

①提出様式

本工事については、再生資源の活用の促進に関する法律に基づく再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成するものとする。

なお、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画及びその実施状況の記載する様式については、建設副産物対策近畿地方連絡協議会が発行する再生資源利用【促進】計画書(実施書)を使用するものとする。

②提出方法

作成した再生資源利用【促進】計画書(実施書)は、1部は自社で工事完成後1年間保管し、計画書は1部、実施書は1部と再生資源利用【促進】入力システムを用いて作成した実施書FDを監督員に提出するものとする。

3) 再生資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート殻(無筋)	(有) アールシー 一吉川	三木市口吉川町福吉字馬堀354
アスファルト殻	同上	同上

※ 上記は、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

4) 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

なお、書面は再生資源利用計画書(実施書)及び再生資源利用促進計画書(実施書)を兼ねるものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

5) 残土の搬出について

他工事現場への搬出を予定している。(搬出先;三木市細川町大篠地内 距離14.5km)
搬出にあたっては、受け入れ先と、よく調整し、安全管理に注意を払って、スムーズな搬出を行うこと。搬出量の把握・確認の方法については、監督員と、協議すること。

7. 排出ガス対策型建設機械について

本工事において下表に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、「建設術評価制度」又は「民間開発建設技術の審査証明事業」により評価された「排出ガス浄化装置」を装着した建設機械を使用すること同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

上記において、「これにより難しい場合」とは、請負者の都合で調達できない場合を含むものとする。

なお、使用する建設機械が排出ガス対策型建設機械であることを確認できる写真を撮影し、完成書類として提出するものとする。

機 種	備 考
<ul style="list-style-type: none"> ・バックホ ・トラクタショベル(車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式、溶接兼用機含) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット (以下に示す基礎工事用機械のうち、ベームとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの: 油圧ハンマ、パイロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機) ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ 	ディーゼルエンジン (エンジン出力7.5kw以上、260kw以下) を搭載した建設機械に限る

・ホイルクレーン	
----------	--

8. 交通安全管理について

- 1) 交通誘導員は、警備業法による警備員を配置するものとし、本設計では以下の人数を計上している。

延べ 120 人

なお、配置個所、期間について警察・地元との協議の結果、上記人数に変更が生ずる場合は本県監督員と事前に協議すること。打合せの結果により変更等が生じた場合は監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、条件変更及び請負者にて特に必要と認められた場合は、その対策等について監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

2) 交通誘導員の資格等

- 本工事に配置する交通誘導員は、原則として交通誘導警備検定合格者（1級または2級）を配置することとする。
但し、交通誘導警備検定合格者を配置できない場合は、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員を配置することとする。

資 格	資 格 要 件
1・2級交通誘導警備検定合格者	公安委員会が学科及び実技試験を行って、交通誘導警備に関して専門的な知識及び技能を有すると認めた者。
交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員	<ul style="list-style-type: none"> 警備業法における警備員指導教育責任者資格者証の交付を受けている者。 警備業法における指定講習を修了した者。 警備業法施行規則における基本教育及び業務別教育（警備業法第二条第一項第二号の警備業務）を既に受けている者で、交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験）が1年以上である者。

- 3) 請負者は、交通誘導員として交通誘導警備検定合格者を配置した場合、交通誘導警備検定合格証（写し）を監督員に提出するものとする。

請負者は、交通誘導員として交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員を配置した場合、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有すると確認できる次の資料の何れかを監督員に提出するものとする。

- 警備員指導教育責任者資格証（写し）
- 指定講習修了証明書（写し）
- 警備業法施行規則 第26条第2項に定める基本教育、及び同条第2項、第3項に定める業務別教育（警備業法第2条第1項第2号の警備業務）を受講したことを証明する警備員名簿及び教育実施状況等の写し、及び交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験）が1年以上であることを証明する書類。

4) 工食用標示板について

標示板の記載内容については「土木工事現場における標示板設置基準（^{平成}昭和53年8月25日付け、~~土木~~土木部長通知）」によるほか、以下の内容を記載すること。

別表

様式 1



(注)

- (1) 色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「舗装修繕工事」等の工事種別については青地に白抜き文字とし、「〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。
- (2) 縁の余白は2cm、縁線の太さは1cm、区画線の太さは0.5cmとする。

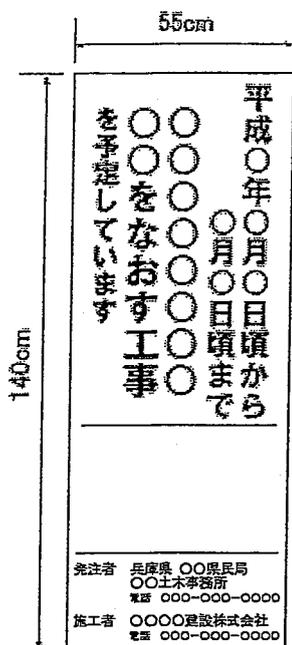
様式 2



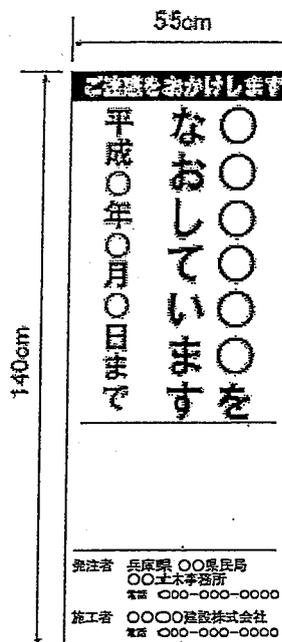
(注)

- (1) 色彩は、矢印を赤色、その他の文字及び記号を青色、地を白色とする。
- (2) 縁の余白は2cm、縁線の太さは1cmとする。

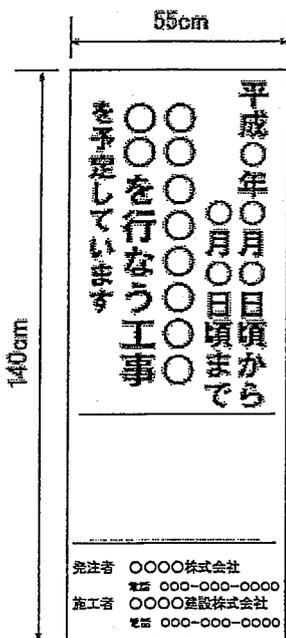
(様式1) 工事情報看板 (道路補修工事)



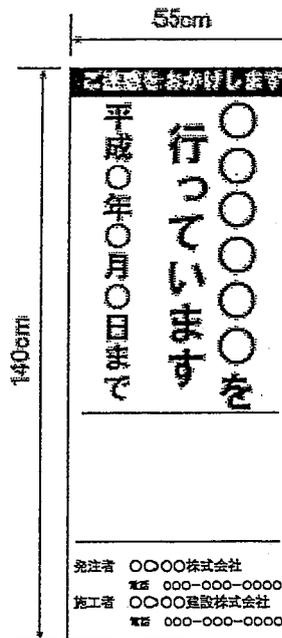
(様式2) 工事説明看板 (道路補修工事)



(様式3) 工事情報看板 (占用企業工事)



(様式4) 工事説明看板 (占用企業工事)



(様式備考)

- (1) 色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文については青地に白抜き文字、「〇〇〇〇をなしております」等の工事内容については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。
- (2) 工事情報看板及び工事説明看板の下部に、当該工事に関する番号や問い合わせ先等を掲示することができる。

には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

- 2) 工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事(2,500万円以上の工事はすでに含まれている)については、CORINSの登録等にかかる費用は共通仮設費率に含まれている。

10. 安全・訓練等について

1) 安全・訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に即した安全訓練等について工事着手後、原則として作業員全員の参加によって、1ヶ月あたり半日以上時間を割当、現場に即した安全訓練等を実施すること。

2) 安全・訓練等に関する施工計画の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出すること。

3) 安全・訓練等の実施状況報告

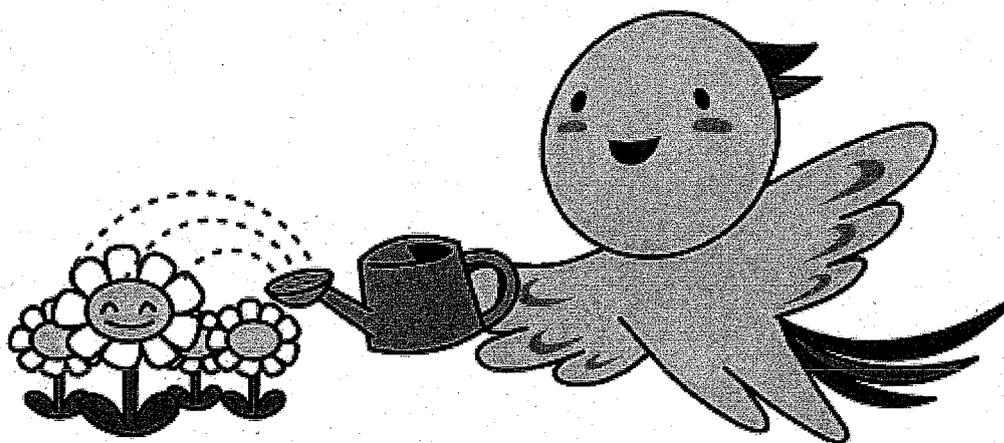
安全・訓練等の実施状況をビデオ又は工事報告(工事月報)に記録し報告すること。

11. 工期について

工期は土・日曜日、祝日、夏期休暇、年末・年始休暇を含んでいる。

12. 花と緑あふれる美しい県土づくりシンボルマークの表示について

請負者は、工事期間中、花と緑あふれる美しい県土づくりシンボルマークを工事標示板に表示し、工事現場に設置しなければならない。



13. (レディーミクストコンクリート)

共通仕様書 第1編共通編 第5章無筋、鉄筋コンクリート 第3節コンクリート 5-3

ー 2 レディーミクストコンクリート については、以下のとおりとする。

- 1) 請負者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合には、JISマーク表示認定工場で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技師等）が常駐しており、配合設計及び品質管理などを適切に実施できる工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場）（以下、「監査合格工場」という。）から選定し、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するものを用いなければならない。これにより難しい場合は、本条2項の規定によるものとする。
- 2) 請負者は、本条1項により難しい場合は、JISマーク表示認定工場で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技師等）が常駐しており、配合設計及び品質管理を適切に実施できる工場から選定し、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するものを用いなければならない。これにより難しい場合は、本条4、5項の規定によるものとする。

なお、請負者は監査合格工場が工事現場近くに見当たるものの、該当する監査合格工場の出荷能力等の制約から調達ができない場合は、該当する監査合格工場からの調達が不可能である理由について記述した書面（以下、「監査合格工場からの調達不可能理由書」という。）を提出し、監督職員の確認を得なければならない。

また、請負者は、監査合格工場が工事現場近くに見当たらない場合は、最寄りの監査合格工場からの運搬経路等を示す等、監査合格工場が工事現場近くに見あたらないことを証する書面（以下、「監査合格工場不在書」という。）を提出し、監督職員の確認を得なければならない。

- 3) 請負者は、JISマーク表示認定工場で製造されJIS A 5308（レディーミクストコンクリート）により粗骨材の最大寸法、空気量、スランプ及び呼び強度等が指定されるレディーミクストコンクリートについては、必要に応じて配合に臨場するとともに製造会社の材料試験結果、配合の決定や品質管理などに関する確認資料を整備・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

なお、配合に臨場する場合の頻度等については、表5-5のとおりとする。

- 4) 請負者は、本条2項により難しい場合は、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られること及び該当工場の配合設計及び品質管理などについて確認の上、その資料により監督職員の確認を得なければならない。なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。

なお、請負者は、必要に応じ「監査合格工場からの調達不可能理由書」「監査合格工場不在書」について提出し、監督職員の確認を得なければならない。

また、請負者は、JISマーク表示認定工場で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技師等）が常駐しており、配合設計及び品質管理を適切に実施できる工場JISマーク表示認定工場が工事現場近くに見当たるものの、該当するJISマーク表示認定工場の出荷能力等の制約から調達ができない場合は、該当するJISマーク表示認定工場からの調達が不可能である理由について記述した書面（以下、「JISマーク表示認定工場からの調達不可能理由書」という。）を提出し、監督職員の確認を得なければならない。

- 5) 請負者は、JISマーク表示認定工場でない工場で製造したレディーミクストコンク

リートをを用いる場合、JISマーク表示認定工場であってもJIS A 5308（レディーミクストコンクリート）以外のレディーミクストコンクリートを用いる場合、JISマーク表示認定工場であるが、監査合格工場以外の工場で製造したJIS A 5308（レディーミクストコンクリート）を用いる場合には、設計図書及び第1編5-3-3配合及び5-3-4材料の計量の規定によるとともに、必要に応じて配合に臨場し、製造会社の材料試験結果、配合の決定や品質管理などのマネージメントに関する確認資料により監督職員の確認を得なければならない。

また、請負者は、レディーミクストコンクリートの打設時には、必要に応じて当該工事の主任技術者又は監理技術者か、コンクリート主任技師又はコンクリート技士の資格を有する技術者（以下、「有資格者等」という。）を立会させねばならない。

なお、配合に臨場する場合の頻度等については、表5-5のとおりとする。

- 6) 請負者は、レディーミクストコンクリートの打設に関し、表5-7に定める練混ぜから打設完了までに要した時間の確認ができる記録資料（以下、「打設状況報告書」という。）を作成・整備・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提示するとともに、検査時に提出しなければならない。
- 7) 請負者は、レディーミクストコンクリートの品質を確かめるための検査をJIS A 5308（レディーミクストコンクリート）により実施しなければならない。なお生産者等に検査のための試験を代行させる場合は請負者がその試験に臨場しなければならない。また現場練りコンクリートについても、これに準ずるものとする。

1.4. 下層路盤材について

アスファルトコンクリート塊を原料とする再生切込砕石を下層路盤材として使用する場合は、別途資材と混合して使用するものとし、アスファルトコンクリート塊の混合割合は重量比60%以下とする。

ただし、別途資材として鉄鋼スラグ路盤材、アッシュストーンを30%以上混合した場合に限り、アスファルトコンクリート塊の混合割合は上記規定を適用しない。

なお、生産者の都合により再生砕石の供給に支障がある場合は、監督員と協議の上新石に変更することとし、設計変更の対象とする。

1.5. その他

本特記仕様書および土木請負工事必携・土木工事共通仕様書・土木工事施工管理基準に記載のない事項および疑義が生じた場合は、監督員と協議のうえその指示に従うものとする。

- ・ 請負者は、電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事用車両を使用しないこととする。
- ・ 大雨注意報等が発令された場合は、パトロール班を待機させ、随時、パトロールを行い、異常が見つかった場合は、至急報告すること。
- ・ 請負者は、建設機械の運転に際し、アイドリングストップを励行しなければならない。
- ・ 設計変更の対象になる場合は、必ず監督員の立会を行うこととする。
- ・ 設計図書に表示された品質・規格等は、相当品以上とする。
- ・ 施工前に、現場CBR試験を行うこととする。位置等については、監督員と協議すること。
- ・ 上水道施設（管及び弁室）を、破損しないように、注意して、施工すること。

16. 追加事項

(1) 土砂搬出について

搬出土に 木根等の混入の無いように注意すること。

(2) 不正軽油の使用の禁止について

- ① 請負者は、工事の施工にあたり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第700条の22の2（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
- ② 請負者は、不正軽油の使用が判明した場合には、速やかに是正措置を講じなければならない。

表5-5 配合に臨場する場合の頻度等 (土木工事)

		請負者の臨場、 確認等の時期	表5-6の分類	監査合格工場の JIS(A5308)製品	監査合格工場以外の JIS(A5308)製品	JIS(A5308)以外 の製品
製造に関する こと	配合への臨場	試験練りを行う場合 には、試験練り時	A欄に該当	○	○	○
			B欄に該当	-	○	○
		打設時	A欄に該当	-	○*1	○*1
			B欄に該当	-	-	○*1
	単位水量にかかる 日常管理に関する 事項の確認	材料承認提出時	A欄に該当	○	○	○*2
			B欄に該当	-	-	○*2
		打設期間中	A欄に該当	○	○	○
			B欄に該当	-	○	○
	品質確保にかかる 社員等の教育状況 の確認	材料承認提出時	A欄、B欄とも	-	○	○*2
施工に関する こと	有資格者等 の臨場	打設時	A欄に該当	-	○	○
			B欄に該当	-	-	-
	打設状況報告書 (表5-7)の作成等	打設時	A欄、B欄とも	○	○	○

*1 : 臨場の頻度は、鉄筋コンクリートは打設日1日につき2回(午前、午後)とし、
その他のコンクリートは打設1日につき1回とする。

*2 : 監査合格工場は除く。

表5-6 コンクリート構造物の分類 (土木工事)

分類	コンクリート構造物の例
A欄	<p>(1)重要構造物</p> <ul style="list-style-type: none"> ①管渠工(樋門、樋管を含む) ②躯体工(橋台等) ③RC躯体工 ④橋脚フーチング工 ⑤RC擁壁 ⑥砂防ダム ⑦堤本体工 ⑧排水機場本体工 ⑨水門工 ⑩共同溝本体工 <p>(2)床版工</p> <p>(3)橋梁上部工の内桁本体</p> <p>(4)トンネル工</p> <p>(5)オープン基礎工、ニューマチック基礎工</p> <p>(6)水密性の求められるコンクリート構造物のうち、比較的規模の大きいもの</p> <p>(7)その他、特別の理由により特記仕様書に定めのあるもの</p>
B欄	<p>A欄以外のもの</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)均しコンクリート (2)小型構造物等の無筋コンクリート (3)その他のコンクリート

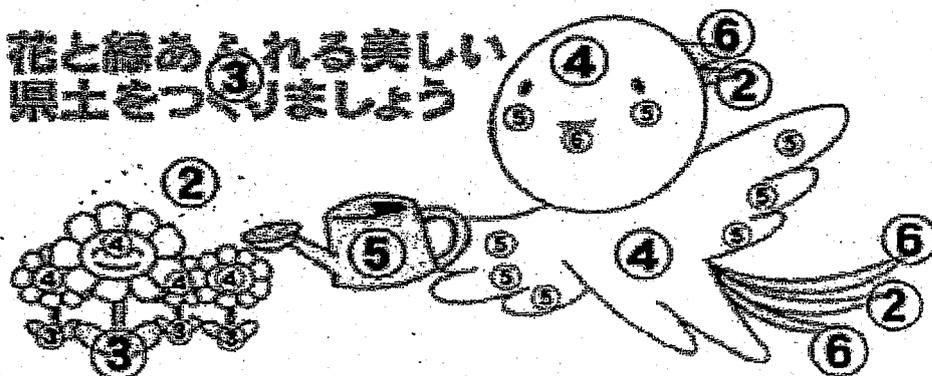
「別紙-1」

工事現場において表示するシンボルマーク



※図柄と文字のバランスは、上図を参考とする。

【配色】



マスコット展開図使用色

G/100 M/60 DIC 641	C/90 M/20 DIC 181	G/90 Y/100 DIC 638	M/10 Y/100 DIC 166	M/40 Y/100 DIC 163
M/100 Y/90 DIC 157	K/100 DIC 582	注) 花卉や下地は、白色とする。		

数 量 総 括 表

工 事 名	(一)新田大沢線 道路改良工事			事業区分	道路新築・改築(レベル0)	
				工事区分	道路改良(レベル1)	
工種(レベル2) 種別(レベル3) 細目(レベル4)	名 称	規 格	算 式	数 量	単 位	摘 要
本工事						
道路土工						
掘削工						
土砂掘削						
	バックホウ掘削積込	オープンカット	1,282.3	1,282.3	1,200	m3
路床盛土工						
流用土盛土						
	敷均し締固め	土砂 W<1m	16.0	16.0	10	m3
作業土工						
床掘						
	バックホウ床掘		60.7	60.7	60	m3
	基面整正		101.9	101.9	100	m2
埋戻						
	埋戻工	締固めD(W<1m)	27.6	27.6	20	m3
残土処理工						

数量総括表

工事名	(一)新田大沢線 道路改良工事			事業区分	道路新築・改築(レベル0)	
				工事区分	道路改良(レベル1)	
工種(レベル2)	名称	規格	算式	数量	単位	摘要
種別(レベル3)						
細目(レベル4)						
残土処理						
	ダンプトラック運搬	10t 積み	$1282.3+60.7-(16.0+27.6)/0.9$	1,294.6	1,290	m3 L=14.5Km
法面整形工						
法面整形(切土部)						
	機械による 削り取り整形	土砂	284.5	284.5	280	m2
法面工						
植生工						
種子散布						
	種子散布工		284.5	284.5	280	m2
石・ブロック積(張)工						
コンクリートブロック工						
コンクリート ブロック基礎						
	コンクリート ブロック基礎	K-1	48.5	48.5	48	m
コンクリート ブロック積						
	コンクリート ブロック積		90.6	90.6	90	m2

数量総括表

工事名	(一)新田大沢線 道路改良工事			事業区分	道路新築・改築(レベル0)	
				工事区分	道路改良(レベル1)	
工種(レベル2) 種別(レベル3) 細目(レベル4)	名称	規格	算式	数量	単位	摘要
	裏込め碎石		0.42×48.5	20.4	20	m3
排水構造物工						
側溝工						
プレキャスト U型側溝						
	プレキャストU型側溝(PU200型)	PU234 再生切込碎石基礎	95.5	95.5	95	m
場所打水路工						
現場打水路						
	現場打L型水路	NL144	16.4	16.4	16	m
構造物撤去工						
構造物取壊し工						
コンクリート構造 物取壊し						
	構造物取壊し工 (機械施工)	無筋構造物	9.6	9.6	9	m3
舗装版取壊し						
	舗装版切断工	t=5cm	7.0+9.2	16.2	16	m
	舗装版の 直接掘削積込	t=5cm	612.0	612.0	612	m2

数量総括表

工事名	(一)新田大沢線 道路改良工事			事業区分	道路新築・改築(レベル0)	
				工事区分	道路改良(レベル1)	
工種(レベル2)	名称	規格	算式	数量	単位	摘要
種別(レベル3)						
細目(レベル4)						
運搬処理工						
殻運搬処分(無筋)						
	ダンプトラック運搬(取りこわし工)	コンクリート殻(無筋)	9.6	9.6	9	m3
	処分費	コンクリート殻(無筋)	1.0	1.0	1	式
殻運搬処分(As殻)						
	ダンプトラック運搬	アスファルト殻	612.0×0.05	30.6	30	m3
	処分費	アスファルト殻	1.0	1.0	1	式
舗装						
舗装工						
舗装準備工						
	不陸整正	路床	903.5	903.5	903	m2
アスファルト舗装工						
下層路盤						
	下層路盤工	再生切込碎石 t=20cm	931.6	931.6	931	m2
上層路盤						

数量総括表

工事名	(一)新田大沢線 道路改良工事			事業区分	道路新築・改築(レベル0)				
				工事区分	道路改良(レベル1)				
工種(レベル2)	種別(レベル3)	細目(レベル4)	名称	規格	算式	数量	単位	摘要	
			路盤工(路肩部)	再生切込砕石 t=20cm	32.0	32.0	32	m2	
	表層								
			アスファルト舗装 機械施工	密粒度アスコン t=5cm	944.2	944.2	944	m2	
縁石工									
	縁石工								
	アスカープ		アスファルトカー ブ設置工		105.0	105.0	105	m	
防護柵工									
	路側防護柵工								
	ガードレール								
			防護柵設置工	コンクリート基礎 Gr-G-2B(新品)	31.0	31.0	31	m	
			防護柵設置工	コンクリート基礎 Gr-G-2B(在来品)	18.0	18.0	18	m	
			防護柵設置工	土中式 Gr-G-4E(新品)	23.0	23.0	23	m	
			防護柵設置工	土中式 Gr-G-4E(在来品)	16.0	16.0	16	m	
	ガードレール撤去								

数量総括表

工事名	(一)新田大沢線 道路改良工事			事業区分	道路新築・改築(レベル0)		
				工事区分	道路改良(レベル1)		
工種(レベル2)	名称	規格	算式	数量	単位	摘要	
種別(レベル3)							細目(レベル4)
		コンクリート基礎 Gr-C-2B	18.0	18.0	18	m	
		土中式 Gr-C-4E	16.0	16.0	16	m	
	ガードレール基礎						
	防護柵基礎工	R201型	25.0	25.0	25	個	
	防護柵基礎工	R202型	36.0	36.0	36	m	
区画線工							
	区画線工						
	溶融式区画線						
	区画線設置工	破線(白) W=15cm 中央線	110×1/2	55.0	55	m	
	区画線設置工	実線(白) W=15cm 外側線	110×2	220.0	220	m	
安全費							
交通誘導員							
	交通誘導員				120	人日	

土量計算書 掘削

番号	距離	断面積		平均		体積		摘要
		オープン		オープン		オープン		
No. 18+15.00	0.00	4.2						EC. 4
No. 19	5.00	4.2		4.20		21.0		
No. 20	20.00	4.5		4.35		87.0		
No. 21	20.00	24.6		14.55		291.0		
No. 22	20.00	17.1		20.85		417.0		
No. 23	20.00	10.5		13.80		276.0		
No. 23+10.50	10.50	8.5		9.50		99.8		SP. 5
No. 24	9.50	6.9		7.70		73.2		
No. 24+5.00	5.00	0.0		3.45		17.3		
小計	110.00					1,282.3		

土量計算書 盛土

番号	距離	断面積			平均			体積			摘要
		W<1m			W<1m			W<1m			
No. 18+15.00	0.00										EC. 4
No. 19	5.00	0.0									
No. 20	20.00	0.7 ✓			0.35			7.0 ✓			
No. 21	20.00	0.1 ✓			0.40			8.0 ✓			
No. 22	20.00	0.0			0.05			1.0 ✓			
No. 23	20.00										
No. 23+10.50	10.50										SP. 5
No. 24	9.50										
No. 24+5.00	5.00										
小計	110.00							16.0 ✓			

土量計算書 作業土工

番号	距離	断面積		平均		体積		摘要
		床掘	埋戻	床掘	埋戻	床掘	埋戻	
No. 18+15.00	0.00	0.3	0.1					EC. 4
No. 19	5.00	0.3	0.1	0.30	0.10	1.5	0.5	
No. 20	20.00	1.1	0.5	0.70	0.30	14.0	6.0	
No. 21	20.00	1.1	0.6	1.10	0.55	22.0	11.0	
No. 22	20.00	0.3	0.1	0.70	0.35	14.0	7.0	
No. 23	20.00	0.3	0.1	0.30	0.10	6.0	2.0	
No. 23+10.50	10.50	0.3	0.1	0.30	0.10	3.2	1.1	SP. 5
No. 24	9.50							
No. 24+5.00	5.00							
小計	110.00					60.7	27.6	

土量計算書 法面整形工

番号	距離	長さ		平均		面積		摘要
		法面整形	植生工	法面整形	植生工	法面整形	植生工	
No. 18+15.00	0.00							EC. 4
No. 19	5.00							
No. 20	20.00	0.0	0.0					
No. 21	20.00	7.5	7.5	3.75	3.75	75.0	75.0	
No. 22	20.00	4.1	4.1	5.80	5.80	116.0	116.0	
No. 23	20.00	3.2	3.2	3.65	3.65	73.0	73.0	
No. 23+10.50	10.50	0.7	0.7	1.95	1.95	20.5	20.5	SP. 5
No. 24	9.50							
No. 24+5.00	5.00							
小計	110.00					284.5	284.5	

舗装版取壊し工

番号	距離	長さ			平均			面積			摘要
		As取壊			As取壊			As取壊			
No. 18+15.00	0.00	7.0 ✓									EC. 4
No. 19	5.00	8.0 ✓			7.50			37.5 ✓			
No. 20	20.00	3.7 ✓			5.85			117.0 ✓			
No. 21	20.00	3.5 ✓			3.60			72.0 ✓			
No. 22	20.00	3.4 ✓			3.45			69.0 ✓			
No. 23	20.00	7.0 ✓			5.20			104.0 ✓			
No. 23+10.50	10.50	8.6 ✓			7.80			81.9 ✓			SP. 5
No. 24	9.50	9.2 ✓			8.90			84.6 ✓			
No. 24+5.00	5.00	9.2 ✓			9.20			46.0 ✓			
小計	110.00							612.0 ✓			

コンクリート構造物取壊し工

番号	距離	断面積			平均			体積			摘 要
		水路底			水路底			水路底			
No. 18+15.00	0.00	0.1									EC. 4
No. 19	5.00	0.1			0.10			0.5			
No. 20	20.00	0.1			0.10			2.0			
No. 21	20.00	0.1			0.10			2.0			
No. 22	20.00	0.1			0.10			2.0			
No. 23	20.00	0.1			0.10			2.0			
No. 23+10.50	10.50	0.1			0.10			1.1			SP. 5
小 計	95.50							9.6			

不陸整正工

番号	距離	長さ		平均		面積		摘要
		不陸整正	距離	不陸整正	距離	不陸整正	距離	
No. 18+15.00	0.00	8.15						EC. 4
No. 19	5.00	9.15		8.650			43.3	
No. 20	20.00	6.30		7.725			154.5	
No. 21	20.00	6.90		6.600			132.0	
No. 22	20.00	8.75		7.825			156.5	
No. 23	20.00	8.90		8.825			176.5	
No. 23+10.50	10.50	9.90		9.400			98.7	SP. 5
No. 24	9.50	9.74		9.820			93.3	
No. 24+5.00	5.00	9.74		9.740			48.7	
小計	110.00						903.5	

舗装工

番号	距離	長さ			平均			面積			摘要
		表層	上層路盤	下層路盤	表層	上層路盤	下層路盤	表層	上層路盤	下層路盤	
No. 18+15.00	0.00	7.90	7.95	8.15							EC. 4
No. 19	5.00	8.90	8.95	9.15	8.400	8.450	8.650	42.0	42.3	43.3	
No. 20	20.00	7.90	7.90	7.90	8.400	8.425	8.525	168.0	168.5	170.5	
No. 21	20.00	7.95	7.95	7.95	7.925	7.925	7.925	158.5	158.5	158.5	
No. 22	20.00	8.50	8.55	8.75	8.225	8.250	8.350	164.5	165.0	167.0	
No. 23	20.00	8.80	8.55	8.75	8.650	8.550	8.750	173.0	171.0	175.0	
No. 23+10.50	10.50	9.80	8.55	8.75	9.300	8.550	8.750	97.7	89.8	91.9	SP. 5
No. 24	9.50	9.64	8.39	8.59	9.720	8.470	8.670	92.3	80.5	82.4	
No. 24+5.00	5.00	9.64	8.39	8.59	9.640	8.390	8.590	48.2	42.0	43.0	
小計	110.00							944.2	917.6	931.6	

路盤工 (路肩部)

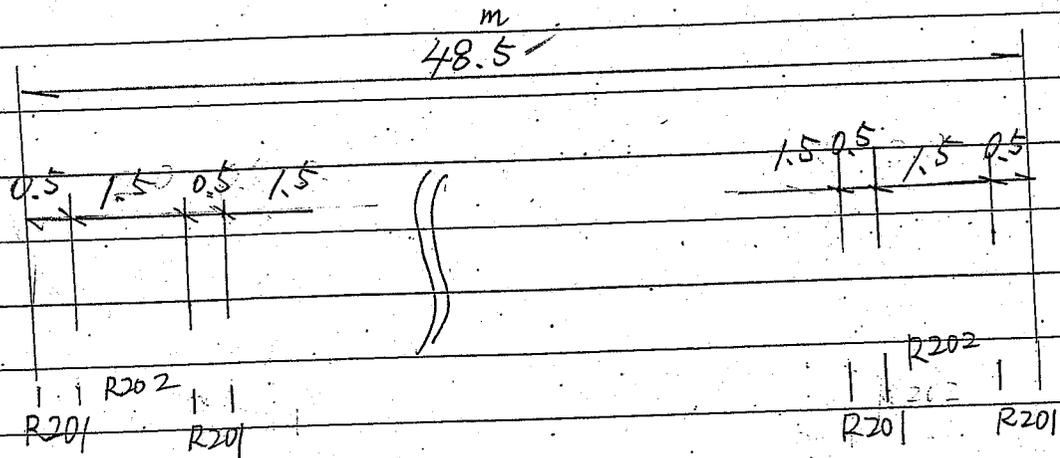
番号	距離	長さ		平均		面積		摘要
		路盤工	距離	路盤工	距離	路盤工	距離	
No. 22	0.00		0.00					
No. 23	20.00		0.35		0.175		3.5	
No. 23+10.50	10.50		1.35		0.850		8.9	SP. 5
No. 24	9.50		1.35		1.350		12.8	
No. 24+5.00	5.00		1.35		1.350		6.8	
小計	45.00						32.0	

ブロック積工

番号	距離	長さ			平均			面積			摘要
		ブロック積			ブロック積			ブロック積			
No. 19+0.50	0.00	0.50									
No. 19+2.50	2.00	1.20			0.850			1.7			
No. 20	17.50	2.06			1.630			28.5			
No. 21	20.00	2.19			2.125			42.5			
No. 21+6.80	6.80	2.19			2.190			14.9			
No. 21+9.00	2.20	0.50			1.350			3.0			
小計	48.50							90.6			

ガードレール基礎 数量根拠

総延長 48.5^m

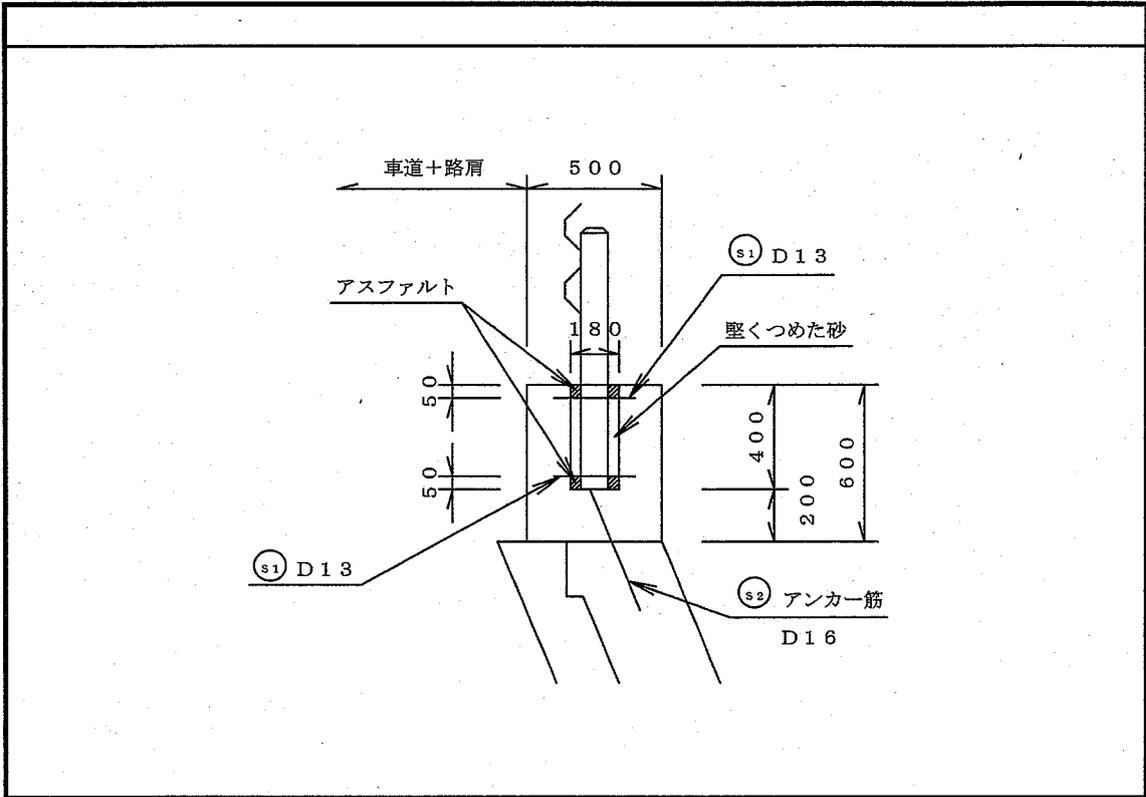


R201	$0.5 \times 25^{\#} = 12.5^m$	} 計 48.5^m
R202	$1.5 \times 24^{\#} = 36.0^m$	

数 量 計 算 書

名 称 : R201型(ホヅ部)

10.0ヶ所当り計算

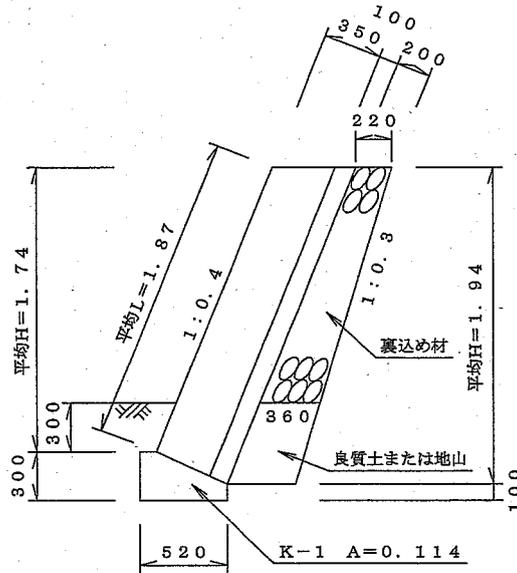


名 称	計 算 式	数 量
コンクリート	小型構造物標準図集より	1.400 m ³
型 枠	小型構造物標準図集より	6.000 m ²
鉄筋 (D13)	小型構造物標準図集より	30.000 Kg
鉄筋 (D16)	小型構造物標準図集より	16.000 Kg

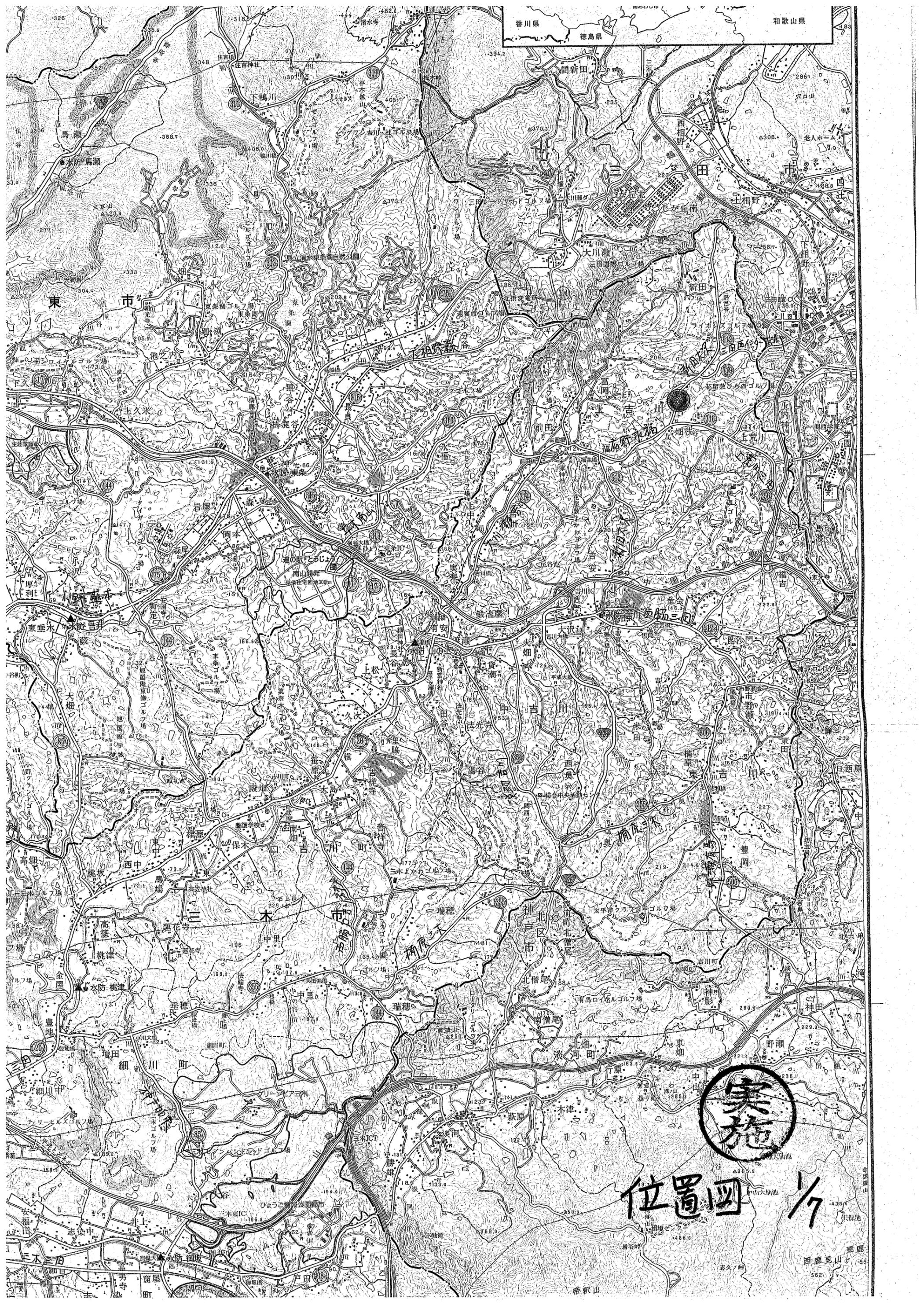
数 量 計 算 書

名 称: ブロック積工

10.0m 当り 計算

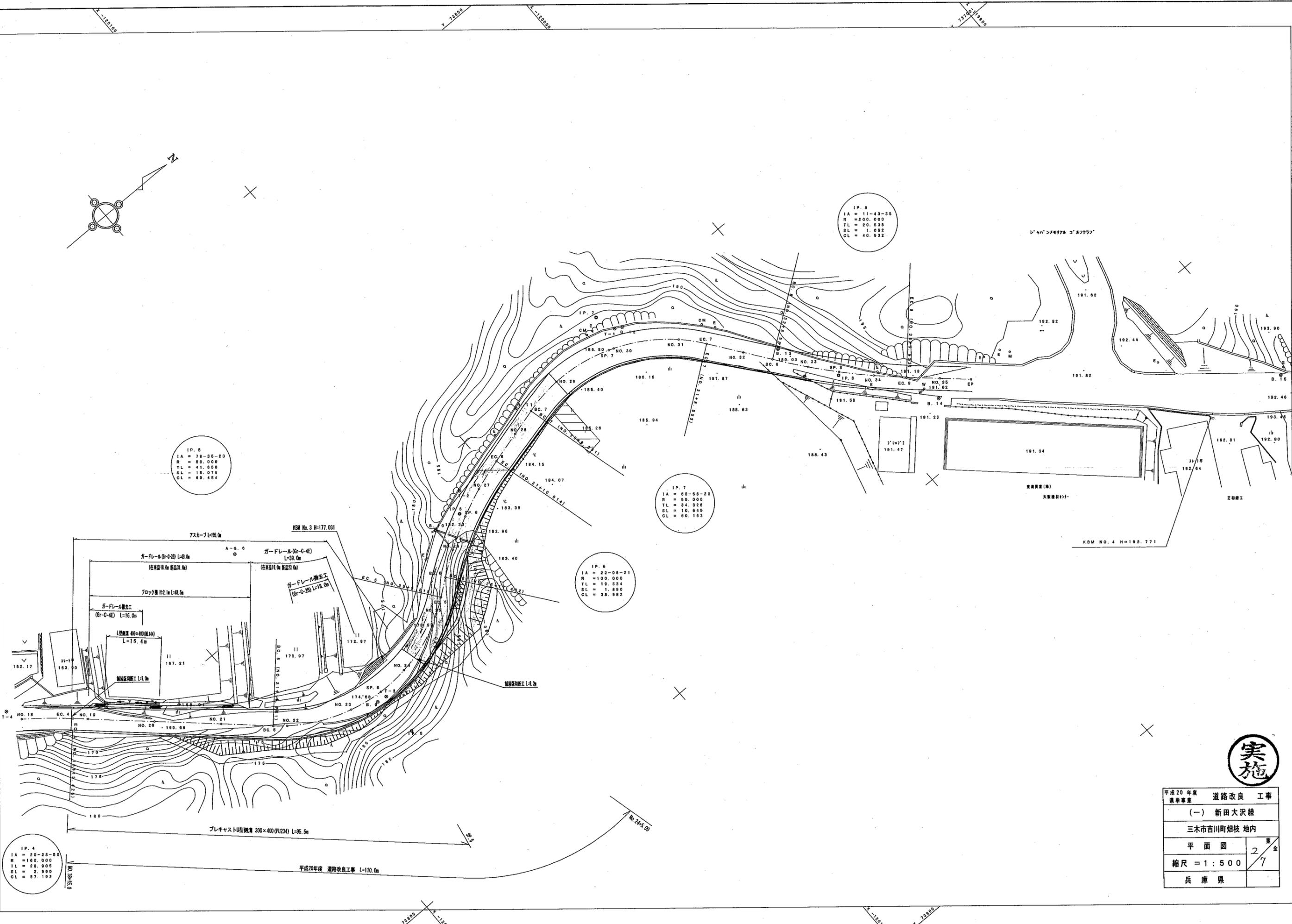
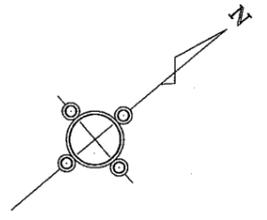


名 称	計 算 式	数 量
裏込めコンクリート	$1.87 \times 0.1 \times 10.0$	1.870 m^3
裏込め材	$1/2(0.22+0.36) \times 1.44 \times 10.0$	4.176 m^3
基礎コンクリート	0.114×10.0	1.140 m^3
基礎コンクリート 型 枠	$(0.3+0.1) \times 10.0$	4.000 m^2



位置図 施

施



平成20年度 道路改良 工事	
県単事業	
(一) 新田大沢線	
三木市吉川町畑枝 地内	
平面図	2/7
縮尺 = 1 : 500	
兵庫県	

IP. 4
IA = 20-28-50
R = 140.000
TL = 28.906
SL = 2.690
CL = 57.192

IP. 5
IA = 78-36-20
R = 80.000
TL = 41.850
SL = 15.075
CL = 89.454

IP. 6
IA = 22-05-21
R = 100.000
TL = 19.534
SL = 1.890
CL = 38.582

IP. 7
IA = 88-56-29
R = 50.000
TL = 34.328
SL = 10.649
CL = 60.163

IP. 8
IA = 11-43-35
R = 20.000
TL = 20.538
SL = 1.052
CL = 40.932

平成20年度 道路改良工事 L=110.0m

プレキャストU型側溝 300×400 (P234) L=95.5m

L=16.4m

L=16.0m

L=18.0m

KBM No. 3 H=177.031

KBM No. 4 H=102.771

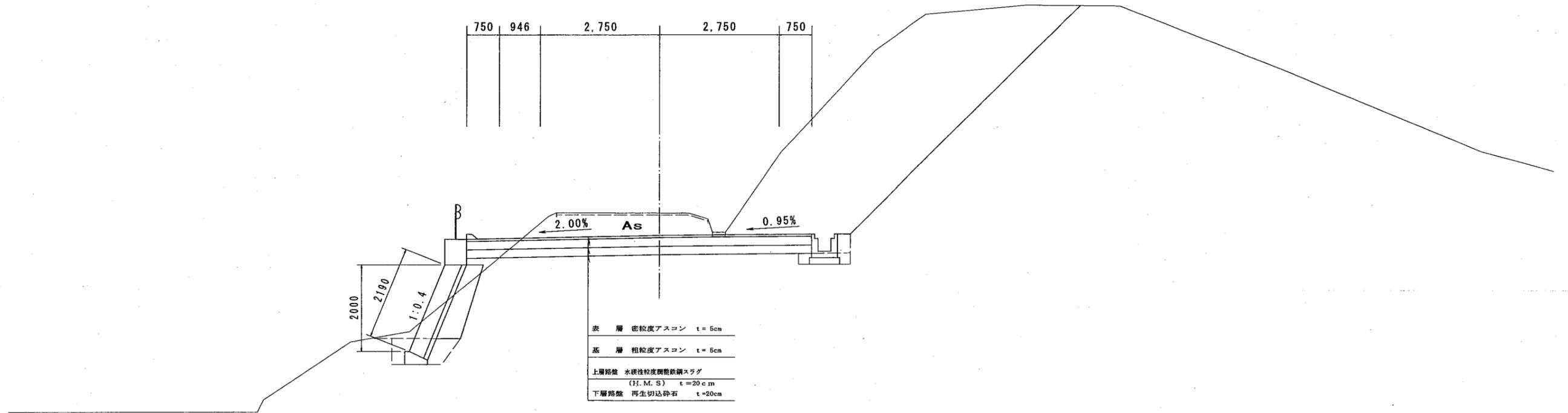
No. 2445.00

標準横断図

NO. 21 付近

GH=171.86

FH=171.34



DL=165.00

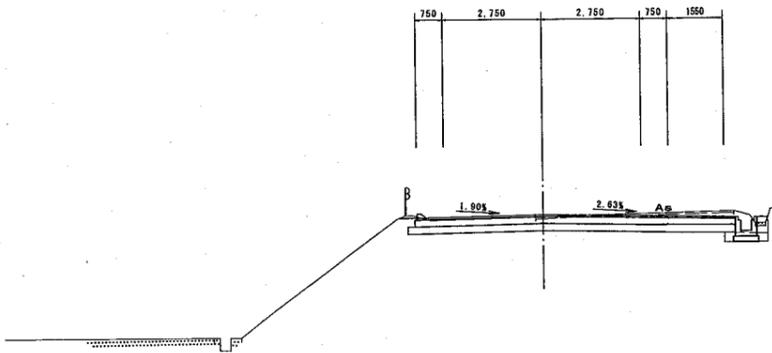
表層	密粒度アスコン	t=5cm
基層	粗粒度アスコン	t=5cm
上層路盤	水硬性粒度調整鉄鋼スラグ (H.M.S)	t=20cm
下層路盤	再生切込砕石	t=20cm

設計条件		
道路名称	(一) 新田大沢線	
道路区分	3種4級	
設計速度	40 km/h	
車線幅員	車線幅員	2.75m × 2車線
	左側路肩	0.75m
	右側路肩	0.75m
車道部	2.00%	



平成20年度 農林事業	道路改良 工事
(一) 新田大沢線	
三木市吉川町畑枝 地内	
標準横断図	第 47 号
縮尺=1:50	
兵庫県	

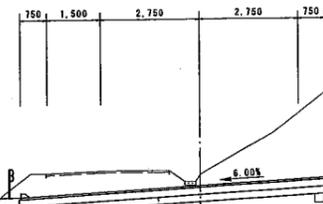
NO. 19
GH=167.29
FH=167.36



種別	細別	単位	数量
舗装工	片切	m ²	
	オープン	m ²	42
盛土工	w<1m	m ²	0.3
	圧縮	m ²	0.1
作業土工	埋戻	m ²	0.1
	埋戻	m ²	0.1
法面整形工	護脚部	m	
	盛土部	m	
縁石準備工	不陸修正	m	0.15
	取巻	m	0.90
舗装工	上層路盤	m	0.95
	下層路盤	m	0.15
	As取巻	m	0.05
取巻工	Cc取巻(水経度)	m ²	0.1
	Cc取巻(ブロック積)	m ²	

DL=160.00

NO. 22
GH=173.61
FH=173.33

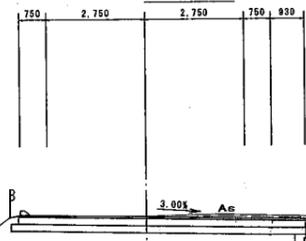


種別	細別	単位	数量
舗装工	片切	m ²	
	オープン	m ²	17.1
盛土工	w<1m	m ²	0.3
	圧縮	m ²	0.1
作業土工	埋戻	m ²	0.1
	埋戻	m ²	0.1
法面整形工	護脚部	m	
	盛土部	m	
縁石準備工	不陸修正	m	0.75
	取巻	m	0.50
舗装工	上層路盤	m	0.55
	下層路盤	m	0.75
	As取巻	m	0.40
取巻工	Cc取巻(水経度)	m ²	0.1
	Cc取巻(ブロック積)	m ²	

養生工 41

DL=165.00

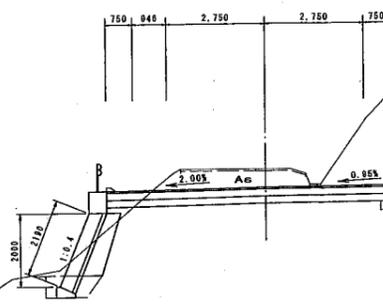
EC. 4
GH=166.92
FH=166.90



種別	細別	単位	数量
舗装工	片切	m ²	
	オープン	m ²	42
盛土工	w<1m	m ²	0.3
	圧縮	m ²	0.1
作業土工	埋戻	m ²	0.1
	埋戻	m ²	0.1
法面整形工	護脚部	m	
	盛土部	m	
縁石準備工	不陸修正	m	0.15
	取巻	m	1.50
舗装工	上層路盤	m	1.55
	下層路盤	m	0.15
	As取巻	m	0.05
取巻工	Cc取巻(水経度)	m ²	0.1
	Cc取巻(ブロック積)	m ²	

DL=160.00

NO. 21
GH=171.86
FH=171.34

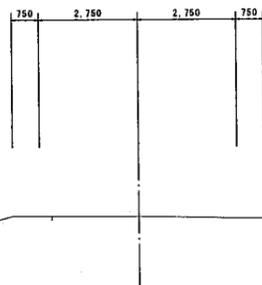


種別	細別	単位	数量
舗装工	片切	m ²	
	オープン	m ²	24.8
盛土工	w<1m	m ²	0.1
	圧縮	m ²	1.1
作業土工	埋戻	m ²	0.6
	埋戻	m ²	0.6
法面整形工	護脚部	m	7.5
	盛土部	m	
縁石準備工	不陸修正	m	0.80
	取巻	m	7.95
舗装工	上層路盤	m	7.95
	下層路盤	m	7.95
	As取巻	m	3.50
取巻工	Cc取巻(水経度)	m ²	0.1
	Cc取巻(ブロック積)	m ²	

養生工 75

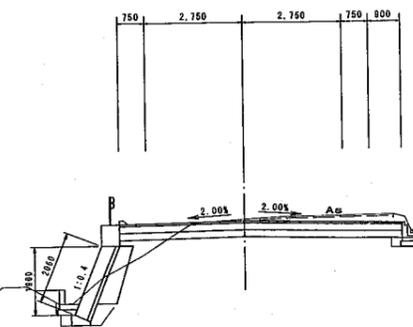
DL=165.00

NO. 18
GH=165.45
FH=165.37



DL=160.00

NO. 20
GH=169.40
FH=169.35



種別	細別	単位	数量
舗装工	片切	m ²	
	オープン	m ²	4.5
盛土工	w<1m	m ²	0.7
	圧縮	m ²	1.1
作業土工	埋戻	m ²	0.5
	埋戻	m ²	0.5
法面整形工	護脚部	m	
	盛土部	m	
縁石準備工	不陸修正	m	0.30
	取巻	m	7.90
舗装工	上層路盤	m	7.90
	下層路盤	m	7.90
	As取巻	m	3.70
取巻工	Cc取巻(水経度)	m ²	0.1
	Cc取巻(ブロック積)	m ²	

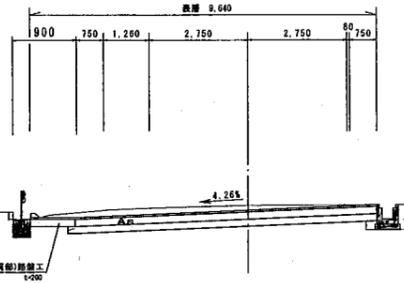
DL=165.00



(NO. 18~NO. 22)

平成20年度 農林事業	道路改良 工事
(一) 新田大沢線	
三木市吉川町畑枝 地内	
横断面図(1/2)	業 全
縮尺 = 1 : 100	5 7
兵庫県	

NO. 24
GH=177.54
FH=177.31



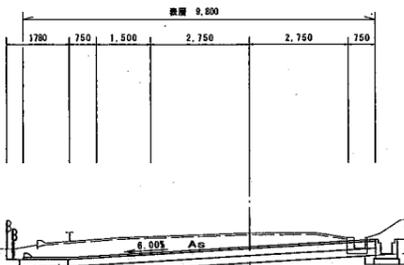
NO.24

種別	細別	単位	数量
掘削工	片切	m ²	0.9
	オープン	m ²	0.9
盛土工	w<1m	m ²	0.3
作業土工	床層	m ²	0.1
	埋戻	m ²	0.1
法面整移工	掘削部	m	-
	盛土工	m	0.74
舗装準備工	不陸整正	m	0.74
	表層	m	0.84
舗装工	上層路盤	m	0.89
	下層路盤	m	0.89
	Aa取壊	m	0.20
取壊工	Ca取壊(水経路)	m ²	-
	Ca取壊(ブロック積)	m ²	1.35

(路肩部)路盤工

DL=170.00

SP. 5 (NO. 23+10.5)
GH=176.74
FH=176.36



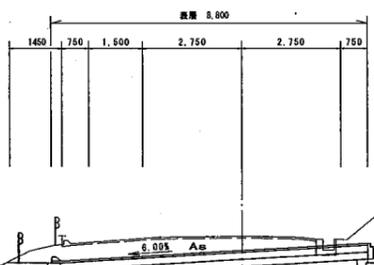
SP.5

種別	細別	単位	数量
掘削工	片切	m ²	0.5
	オープン	m ²	0.5
盛土工	w<1m	m ²	0.3
作業土工	床層	m ²	0.1
	埋戻	m ²	0.1
法面整移工	掘削部	m	0.7
	盛土工	m	-
舗装準備工	不陸整正	m	0.90
	表層	m	0.80
舗装工	上層路盤	m	0.55
	下層路盤	m	0.75
	Aa取壊	m	0.80
取壊工	Ca取壊(水経路)	m ²	0.1
	Ca取壊(ブロック積)	m ²	1.35

(路肩部)路盤工

DL=170.00

NO. 23
GH=175.72
FH=175.32



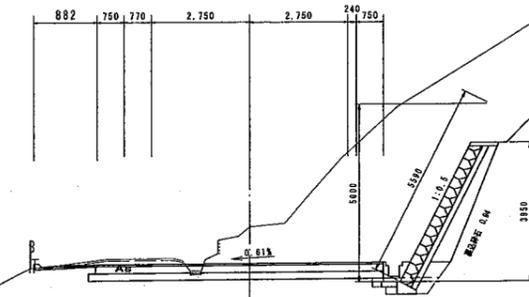
NO.23

種別	細別	単位	数量
掘削工	片切	m ²	10.5
	オープン	m ²	10.5
盛土工	w<1m	m ²	0.3
作業土工	床層	m ²	0.1
	埋戻	m ²	0.1
法面整移工	掘削部	m	2.2
	盛土工	m	-
舗装準備工	不陸整正	m	0.90
	表層	m	0.80
舗装工	上層路盤	m	0.55
	下層路盤	m	0.75
	Aa取壊	m	2.00
取壊工	Ca取壊(水経路)	m ²	0.1
	Ca取壊(ブロック積)	m ²	0.35

(路肩部)路盤工

DL=170.00

NO. 25
GH=180.34
FH=179.30



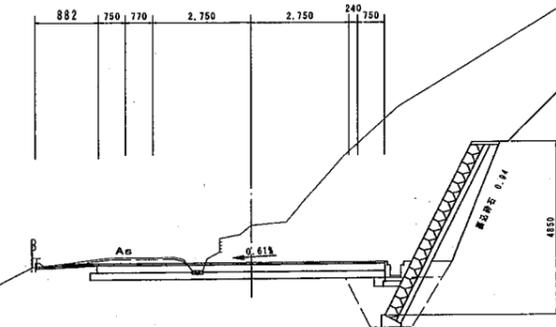
NO.25

種別	細別	単位	数量
掘削工	片切	m ²	0.7
	オープン	m ²	0.7
盛土工	w<1m	m ²	0.3
作業土工	床層	m ²	0.1
	埋戻	m ²	0.3
法面整移工	掘削部	m	13.1
	盛土工	m	0.84
舗装準備工	不陸整正	m	0.80
	表層	m	0.89
舗装工	上層路盤	m	0.66
	下層路盤	m	0.26
	Aa取壊	m	4.14
取壊工	Ca取壊(水経路)	m ²	0.1
	Ca取壊(ブロック積)	m ²	-

(路肩部)路盤工

DL=170.00

NO. 25'
GH=180.34
FH=179.30



NO.25'

種別	細別	単位	数量
掘削工	片切	m ²	58.7
	オープン	m ²	58.7
盛土工	w<1m	m ²	2.8
作業土工	床層	m ²	2.1
	埋戻	m ²	2.1
法面整移工	掘削部	m	13.1
	盛土工	m	7.2
舗装準備工	不陸整正	m	0.89
	表層	m	0.89
舗装工	上層路盤	m	0.66
	下層路盤	m	0.26
	Aa取壊	m	4.14
取壊工	Ca取壊(水経路)	m ²	0.1
	Ca取壊(ブロック積)	m ²	-

(路肩部)路盤工

DL=170.00

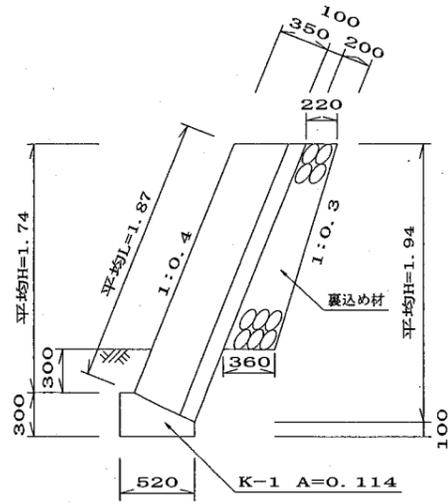
(No. 23~No. 25)

平成20年度	道路改良	工事
東岸事業		
(一) 新田大沢線		
三木市吉川町畑枝 地内		
横断面図(2/2)	6/7	全
縮尺 = 1 : 100		
兵庫 県		



ブロック積工

S=1 : 25



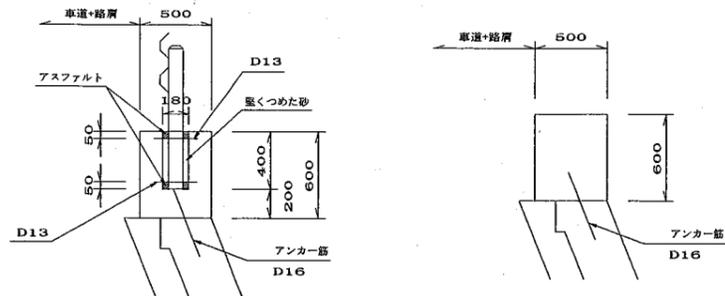
ブロック積工展開図

H=1 : 200
V=1 : 30



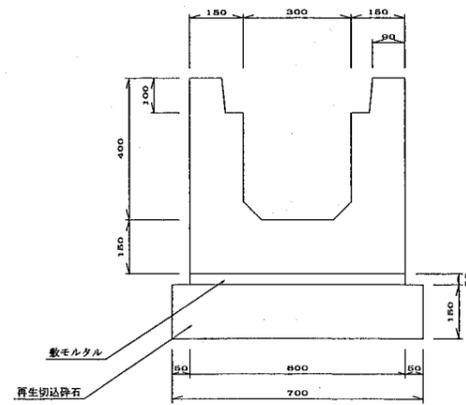
ガードレール基礎工

S=1 : 25



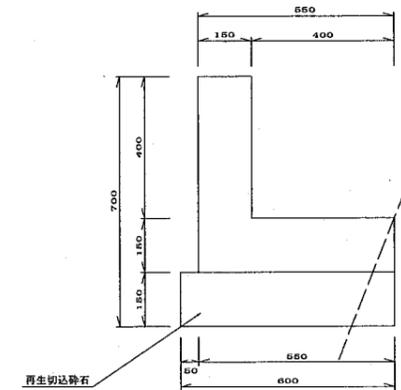
プレキャストU型側溝工

(PU234) S=1 : 10



現場打型側溝工

(NL144) S=1 : 10



平成20年度 県単事業	道路改良 工事
(-) 新田大沢線	
三木市吉川町畑枝 地内	
構造図	7/7
縮尺 = 1 : 100	
兵庫県	